

# (一般・代表)質問通告書

令和 7年 2月 25日  
12時59分受付①番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 25日

会派名           おごおり創志会          

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員           大場美紀          

## 質問事項

### 1. これからの公共施設のありかたについて 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

現在、資材価格や労務費の高騰により、全国的に公共施設の建設費用が増加している。本市においても、当初見込んでいた体育館の建設費が、58億円と大きく膨れ上がる見通しとなっている。

こうした状況の中でも、市民が利用しやすく、防災拠点としての機能を十分に備えた体育館を、限られた財源の中で効率的に整備することが必要。特に、一般的に流通している標準仕様の資材を活用することで、可能な限り建設コストを抑えるべきだと考える。

また、給食センターはPFI事業(民間資金活用による公共事業)として進められているが、公的資金で建てられる体育館とは異なり、議会としての細かなチェック機能が働きにくい懸念がある。市として透明性をどのように確保し議会や市民に対して説明責任を果たすのか、契約内容やリスク分担の透明性確保について問う。

今後検討委員会の立ち上げが予定されている新庁舎建設において、具体的にどのように進めていくのか現時点での考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 体育館建設費用の増加に対する見解と対応について問う。
- (2) 建設コスト削減に向けた具体的な取り組みについて問う。
- (3) 長期的な維持管理費用と財政負担の見通しについて問う。
- (4) 防災機能の強化について問う。
- (5) 市民の利便性と利用促進対策について問う。
- (6) 給食センターPFI事業における情報公開の仕組みについて問う。
- (7) PFI事業におけるコストとリスクの管理について問う。
- (8) チェック機能の強化について問う。
- (9) 新庁舎建設における検討委員会の立ち上げを含め、財政負担の抑制策について現時点での市の考えを問う。

## 質問事項

### 2. 施設整備等事業のありかたについて

【補助資料 有・**無**】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

保育園や放課後等デイサービスなどの施設数が急速に増加している現状について、その背景や理由が十分に説明されていない。これらの施設整備がどのような計画に基づいて進められているのかを明確にするとともに、将来的な需要予測や地域バランスをどのように考慮しているのかを問う。

また、急速な施設増加が市の財政や運営に与える影響についても、持続可能な運営の観点から具体的な見通しと対応策を問う。

質問明細（具体的に）

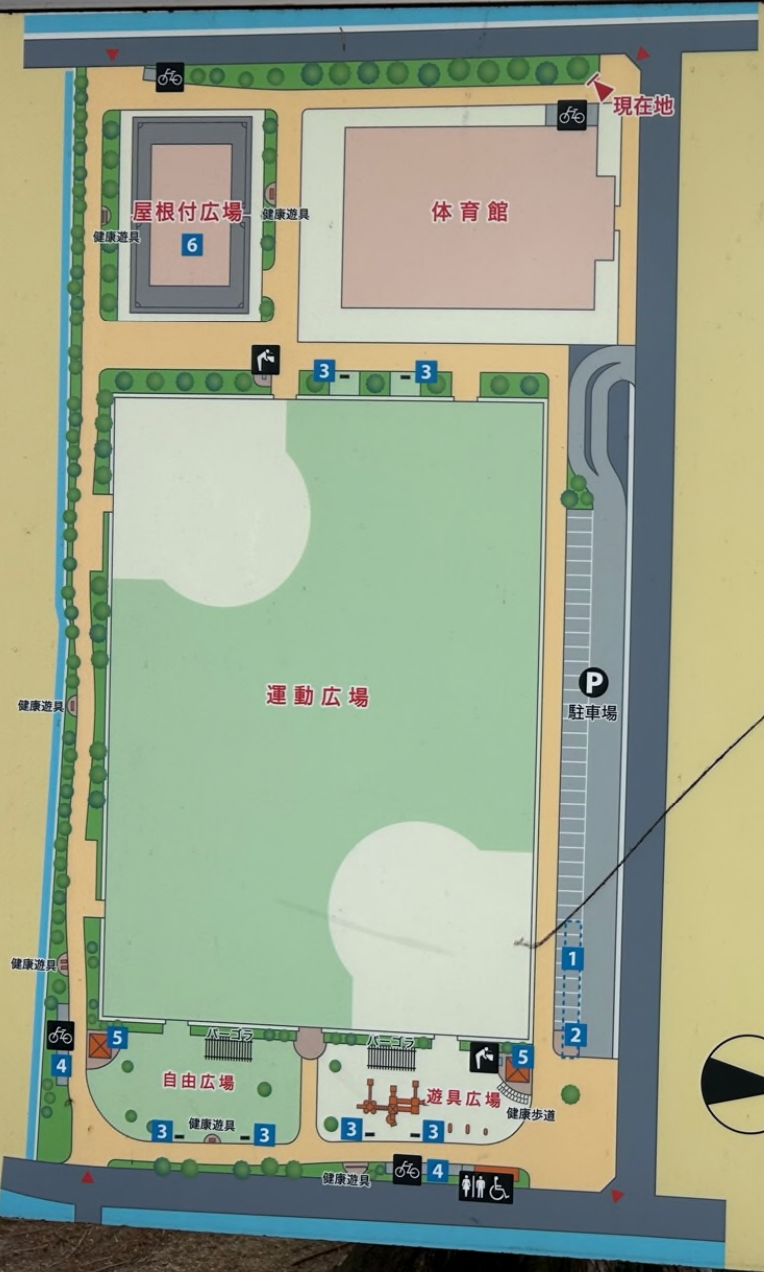
- （1）施設等の整備計画について、どのような計画に基づいて行われているのかを問う。
- （2）将来の需要見通しと対応方針について問う。
- （3）整備計画の透明性と市民（議会）への説明責任について問う。
- （4）財政負担と持続可能な運営の見通しについて問う。

# 新体育館完成予想図

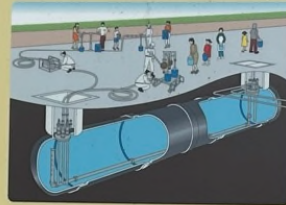


# 八尾市立南木の本防災公園 総合案内板

八尾市立南木の本防災公園は災害時に備えて  
防災施設が設置されています

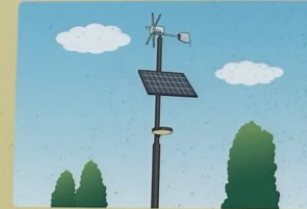


## 1 耐震性貯水槽



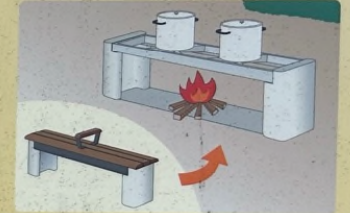
地震などの災害時に皆さんの飲料水を確保するために100トンの耐震性の貯水槽を埋設しています。

## 2 ハイブリッド照明



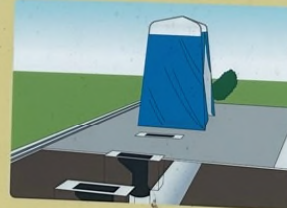
風力と太陽光の自然エネルギーを利用したハイブリッド照明は環境にやさしく、停電時にも灯りを提供します。

## 3 かまどベンチ



平常時にはベンチとして利用しますが、災害時には炊き出し用のかまどとして利用することができます。

## 4 非常用トイレ



平常時には駐輪場として利用しますが、災害時には非常用のトイレとして利用します。

## 5 あずまや

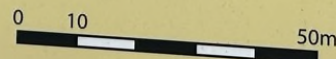
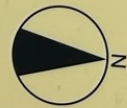


災害時にはあずまやにテントを張って、救護室等で利用します。

## 6 屋根付広場



災害時には救援活動スペースとして利用し、また救援物資の荷捌き場として活用します。



トイレ

駐車場

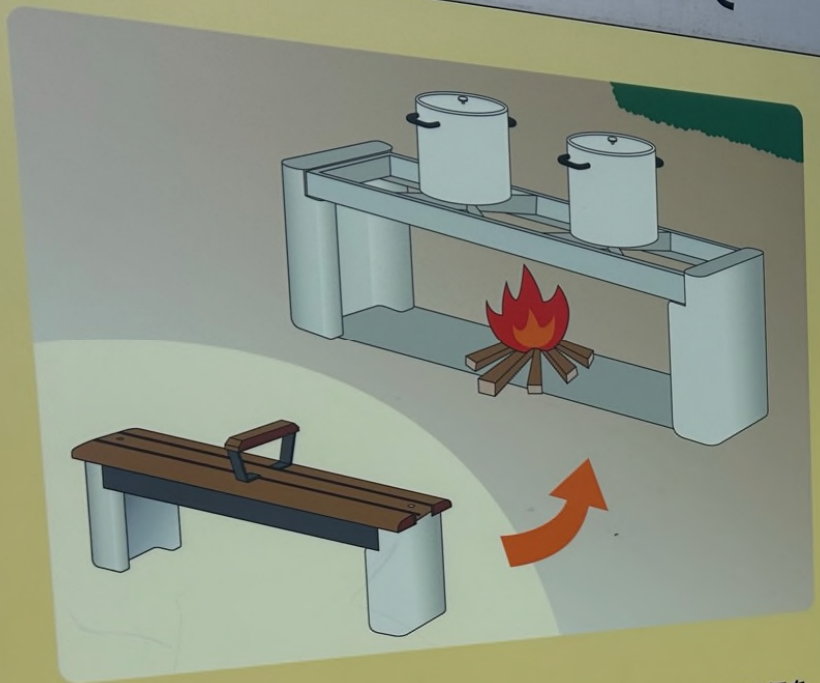
駐輪場

水飲み

公園出入口

**1 ~ 6** 防災施設

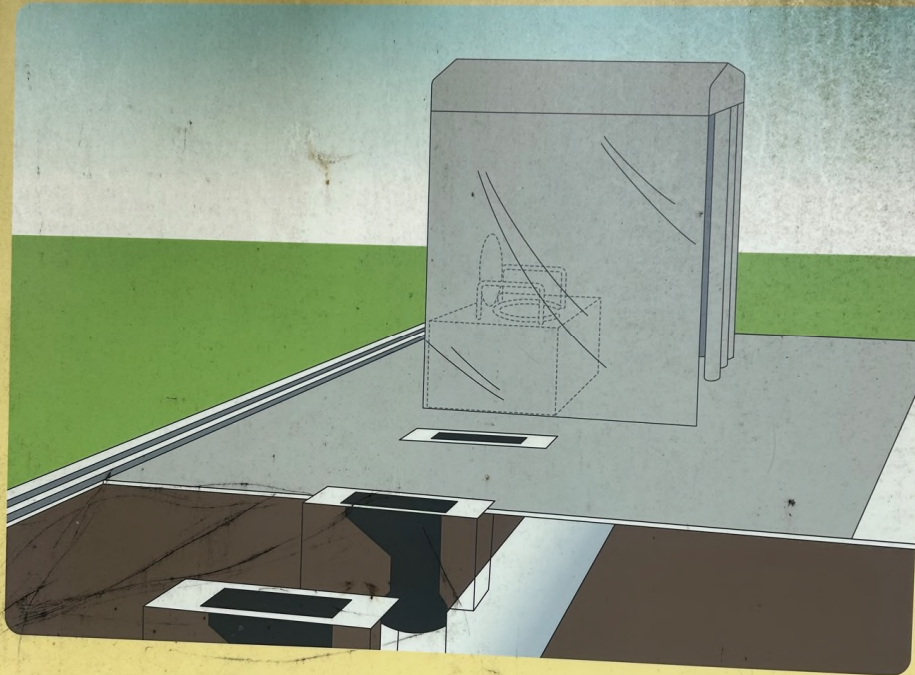
# かまどベンチについて



平常時にはベンチとして利用しますが、災害時には座板を取って炊き出し用のかまどとして利用することができます。

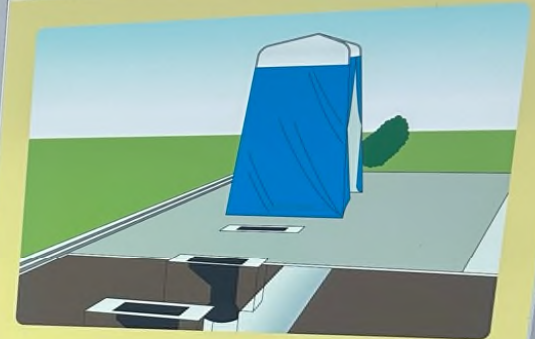


# 非常用トイレについて



平常時には駐輪場として利用しますが、災害時にはテントを張って非常用のトイレとして利用します。

## ひじょうよう 非常用トイレについて



平常時には駐輪場として利用しますが、災害時にはテントを張って非常用のトイレとして利用します。



# (一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 25日  
12時 33分受付 ②番

令和 7年 2月 25日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤 理恵

## 質問事項

### 1. 今後の行財政運営と改革について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

人口減少・高齢化の大きな流れの中でも、原油価格・物価高騰など、刻々と変わる社会経済情勢の中で、本市は消防署の建て替え、給食センターや新体育館の建設などを進められている。総額 100 億を超える事業費に財政負担を心配する市民の声が後を絶たない。限られた財源の中で、持続可能な未来をどう描くのか、市民との情報共有が大切である。また、税金の使い道を分かりやすく示すことこそが、税を納めて頂いている行政としての責務だと考える。そこで、今後どのように行財政改革をしながら、持続可能な行政運営を進めていかれるかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 今後の財政状況の見通しについて問う。
  - ・歳入、歳出及び財政指標のこれまで (10 年) の推移と今後の見通しについて
- (2) 今後の行財政運営について問う。
  - ・新規事業や既存事業の見直しについて
  - ・団体等への補助金や交付金の見直しについて
  - ・国、県からの補助金、交付金、負担金の活用について
- (3) 今後の行財政改革について問う。
  - ・中長期財政計画の策定について
  - ・行財政改革計画の策定について

# (一般代表) 質問通告書

令和 7年 2月 25日  
12時 21分受付③番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 25日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

## 質問事項

### 1. 大型公共施設の建設での市財政負担に関して 【補助資料 有・~~無~~】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市は、過去最大規模となる令和7年度当初予算案が提出された。コンパクトシティを目指す市政運営とは真逆の予算規模であり、自主財源の市税は、前年度の定額減税の反動や賃金上昇による個人所得の増額により、前年比6.7%の増額で組まれている。小郡市の歳出のうち、扶助費、人件費は大きく増額して盛り込まれている。今後も、市庁舎はじめ、文化会館、運動公園、総合保健福祉センター等の老朽化公共施設の更新・維持補修費の増大は避けられない。

また、災害・治水対策、子育て支援施策の充実や、扶助費の増大といった財政需要が増すと見込まれる一方、歳入面では少子高齢化の進行等に伴って市税の大幅な増加は見込めない状況が予想される。令和7年度より、学校給食センター、市新体育館、三井消防署の大型公共施設の3施設の立替工事が計画され、合計事業費は、約115億円になると思われる。今後の財政運営は、物価や金利の上昇といった懸念材料もあり予断を許さない状況と思われる。大型公共施設の建設事業費の財源に関して、また、事業費の国庫補助金、市債の割合を問う。また、今後の、長期的な市の財政運営に関して問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市の歳入の自主財源の市税の増加に関して伺う。
- (2) 歳出のうち、扶助費、人件費が大きく増額している事について伺う。
- (3) 学校給食センターのPFI契約内容の支払いについて伺う。
- (4) 市体育館の概算事業費と国庫補助金、市債に関して問う。
- (5) 緊急防災減災事業債・緊急自然災害防止対策事業債に関して問う。
- (6) 物価高騰で三井消防署の建設事業費の増額はないのか。
- (7) 甘木鉄道の駅の増設に関して、小郡市の負担額について問う。



# (**一般**・代表)質問通告書

令和7年2月18日  
10時10分 受付1番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年2月18日

会派名 自由の風

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

## 質問事項

### 1. 小郡の養護老人ホーム(池月苑)の現状と課題について【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

全国的に養護老人ホームの運営については厳しい状況であると認識しているが、池月苑の設立の経緯から言って、市としての役割と現状をどのように認識しているのか更に今後の方向性を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 養護老人ホームの運営について収入源が個人負担を除けば大半が自治体から措置費であるが、本来国の補助金であったが市町村の負担になった経緯と措置費の改定について問う。
- (2) 基準財政需要額において、地方交付税の算定額の改定と市の取り組みについて問う。
- (3) 施設の老朽化と市の支援について問う。
- (4) 入居者確保のための取り組みについて問う。
- (5) 今後の市の取り組みについての考えを問う。

## 質問事項

### 2. 救急車の同乗について【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

救急車を呼んで病院に搬送させる場合に家族や関係者・看護師等の同乗が求められるが、病院へ患者が搬送された後帰宅する場合の交通手段について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 夜間に救急搬送された場合に、帰宅する時に公共交通機関やタクシーが無い場合の手段の確保について問う。

# (~~一般~~代表)質問通告書

令和 7年 2月 18日  
10時 14分 受付 2番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年2月18日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒岩重彦

## 質問事項

### 1. 高齢者支援について

【補助資料  有  無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

2025年は団塊の世代の全てが75歳以上となり、およそ5人に1人が後期高齢者となる「超高齢化社会」へ突入する。人口減少の中、高齢化社会を支える上で、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って健康で楽しい自立した生活を営むために、行政や地域住民がこの問題に真剣に向き合い、取り組みを進めていく必要があると考える。

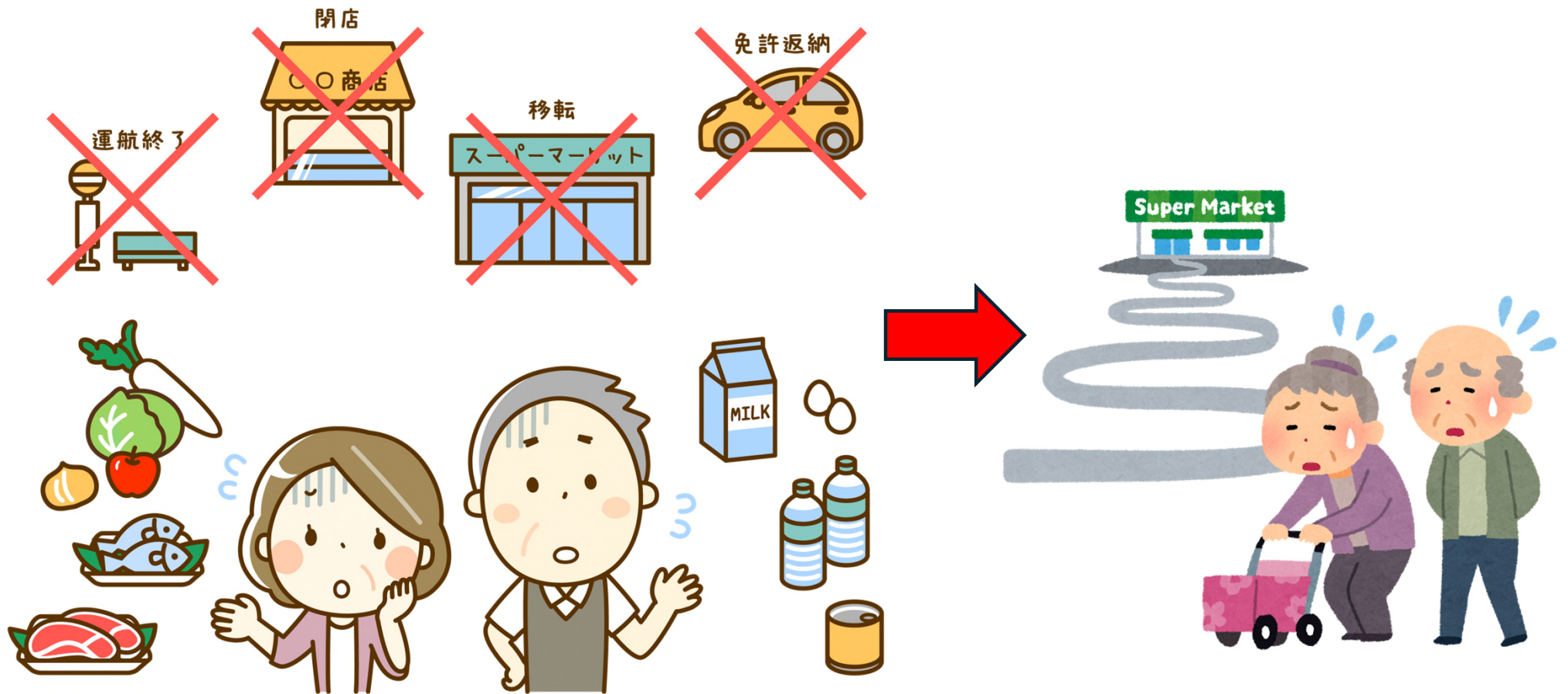
そのような中、高齢者も様々で介護等が必要な方は、家族による介護やヘルパーによる訪問介護サービス等の利用により自宅で生活されているが、ヘルパーなどの担い手の高齢化や介護報酬の引き下げ等の影響によりヘルパーなどの人材不足が加速し、十分なサービスを受けられない状況が発生している。また一方で、要支援・要介護の認定までには至らない高齢者も年々増加している。そのなかで一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方々が急増しているため高齢者の孤立化や閉じこもりなどの問題が発生しており、買い物支援や外出支援などの新たな対応が求められている。

このような状況を踏まえ、小郡市民生委員児童委員としては見守り支援や相談支援などの様々な対応を行っているが業務過多で限界状態となっており、行政区やまちづくり推進協議会などの地域の支援や地域包括支援センターとの連携が必要と考えるが、市としてこれからどのように取り組んでいくのか見解を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 高齢者の方々が生きがいをもって老後を過ごせるための対策について問う。
- (2) 高齢者の買い物支援について問う。
- (3) 高齢者の外出支援について問う。
- (4) サロンやカフェなど的高齢者の居場所づくりと相談支援について問う。
- (5) 高齢者の交通弱者に対する支援について問う。

# 高齢者の困りごと



## 都市計画課

### 地域公共交通 (のりーと小郡)

- ・交通弱者対策



## 福祉課

### 民生委員児童委員

- ・見守り支援
- ・相談支援



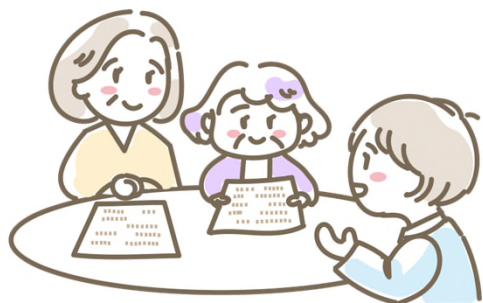
高齢者の  
困りごと

買物支援  
外出支援

## 長寿支援課

### 地域包括支援センター

- ・高齢者支援  
心身の健康保持  
生活支援



## コミュニティ推進課

### まちづくり推進協議会

- ・健康福祉部会
- ・自治会バス部会



# (一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 19日  
11時 9分受付 3番

令和 7年 2月 19日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田 典彦

## 質問事項

### 1. 骨粗しょう症の検診について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

骨粗しょう症の進行を防ぐことは介護予防や認知症予防につながる。また、最初は多くの場合症状がなく、発症自体気づきにくいという特徴がある。できるだけ早い時期に自分の骨量がどの程度かを知り生活習慣を改善することで予防することができる。そのためにも骨粗しょう症の検診は必要だと思うが市の考えを問う

質問明細 (具体的に)

- (1) 骨粗しょう症検診に対する市の考えを問う
- (2) 骨粗しょう症予防の為に市の取り組みを問う
- (3) 市で骨粗しょう症の人が何人いるかを問う
- (4) 骨粗しょう症検診を特定検診に導入が出来ないか問う

## 質問事項

### 2. 公立学校の通学時における自転車用ヘルメット着用の義務化について

【補助資料 有・無】(市長)

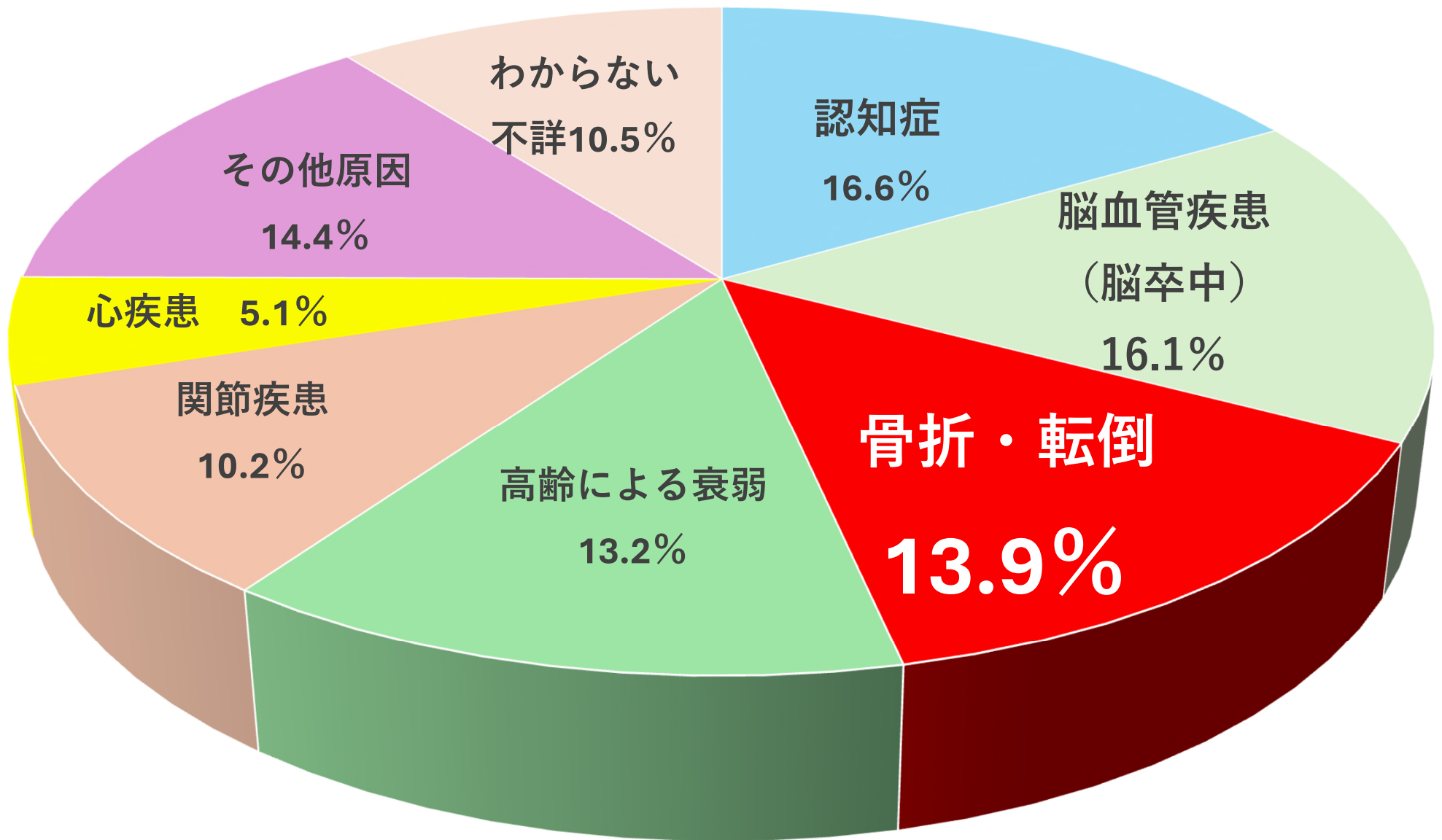
質問要旨 (課題・問題点等)

2025年度から全ての高校や中等教育学校で、自転車通学の生徒にヘルメット着用が義務化となるが、物価高騰により経済的に厳しい状況の中、当事者家庭においてはヘルメット購入が更なる負担になると思われる。市として支援があるか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市在住の高校生で自転車通学の人数を問う。
- (2) ヘルメット購入の補助について市の考えを問う。
- (3) 中学生の自転車ヘルメットをデザイン性の高いヘルメットに変更してはどうかと思うが市の考えを問う。

# 介護が必要になった主な原因



# (一般・代表)質問通告書

令和 7 年 2 月 9 日  
12時 48分受付 4番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 2 月 19 日

会派名 自由の風

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐々木 益雄

## 質問事項

### 1. 「大谷グローブ」の使用について

【補助資料 有・**無**】(教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

今世界のスーパースターである大谷翔平選手が、「野球しようぜ!!」そんな手紙とともに令和5年12月から令和6年3月にかけて、全国の小学校約20,000校に3個(右利き2個・左利き1個)ずつグローブを寄贈した。これを受けて市内の小学校では寄贈されたグローブはどのような使い方活用がされているのか問う

質問明細 (具体的に)

- (1) 市内の各小学校の使用状況について問う
- (2) 各小学校では使用ルールなどの取り決めがあるのかその状況について問う
- (3) 野球の実技指導ができる教職員が少ない現実もあるがその実態について問う
- (4) グローブが傷んだり紛失するのを恐れ、使用せずに厳重に保管・展示されている小学校もあると聞くがその状況について問う
- (5) グローブに付属するタグや同封された手紙が、転売サイトに出品されるという事件もおきているがその状況について問う
- (6) 今回の大谷選手のグローブ寄贈について、教育委員会としてどのように捉えられているのか、今後の取り扱いについてどのように指導されるのか見解を問う

## 質問事項

### 2. 下水道整備事業について

【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和4年9月議会の一般質問では、令和7年度を完成目標として進めていきたいと答弁があった。2年半を経過し今年最終目標であった最終年度を迎えるが進捗状況を問う。また高度成長期に整備されたインフラの老朽化が深刻となっており、下水道管の破損など供用開始から40年以上経過した下水道管の腐食が深刻化しているが状況を問う

質問明細 (具体的に)

- (1) 下水道整備事業の進捗状況について問う
- (2) 未整備地区の味坂・立石地区住民への説明状況について問う
- (3) 今後の下水道整備事業の完成年度について問う
- (4) 道路の陥没状況について問う
- (5) 下水道管の劣化状況・点検調査状況について問う

# (一般)代表)質問通告書

令和 7年 2月21日  
14時 42分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 21日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 深川博英

## 質問事項

### 1. 大板井地区の開発に伴う学校施設や通学路の影響について

【補助資料 有・**無**】( 教育長 )

質問要旨 (課題・問題点等)

大板井地区の住宅開発が進んでいる中、今後児童数の増加が見込まれるが現在の大原小学校の教室数で受け入れは可能なのか。また通学路等の安全対策は十分なのか。

質問明細 (具体的に)

- (1) 大原小学校の教室の状況は。
- (2) 今後の児童数増加の見込みは。
- (3) 児童数増加に伴う今後の対応は。
- (4) 通学路の安全対策は。

## 質問事項

### 2. 小郡市立学校給食センターの建設について

【補助資料 有・**無**】( 市長 )

質問要旨 (課題・問題点等)

令和8年9月に供用開始予定されてある学校給食センターの建設スケジュールや建設に伴う詳細な説明が学校運営協議会以外に保護者や地元を示されていない。工事期間には様々な影響があると考えますが説明の機会を検討されているか。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在の進捗状況を問う。
- (2) 今後のスケジュールを問う。
- (3) 地元、保護者への説明はいつか。
- (4) 工事期間中の学校への影響は
- (5) 給食の供給に影響はないか



# ①(一般・代表)質問通告書

会派名           みらいの会          

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員           深川博英          

## 質問事項

### 3. ふるさと納税支援委託事業について

【補助資料 有・②】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

委託事業者が観光協会から民間の企業が請け負うことになったが令和6年度寄付額はどうか。

質問明細 (具体的に)

- (1) 令和6年度の寄付額見込みは。
- (2) 返礼品の増減は。
- (3) 返礼品を取り扱う事業者数の増減は。
- (4) 今後の寄付額増加に向けた取り組みは。

# (一般)質問通告書

令和7年2月21日  
14時15分 受付6番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 21日

会派名                     おごおり創志会                    

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員                     佐藤 源                    

## 質問事項

### **1. 安心・安全なまちのために市ができることについて【補助資料 無】(市長)**

質問要旨 (課題・問題点等)

ここ最近、通り魔による事件が連続して発生した。また、トクリュウと言われる「匿名・流動型犯罪グループ」による犯罪も多数発生している。トクリュウによる事件は詐欺・強盗などがあり、SNSを通じた闇バイトの募集などの被害も出ている。当然、基本的には県や警察が市民への啓発含めて対応を行っている。では、市として何かできないのかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 通り魔事件の際にはリレー捜査が有効だったと聞すが、市としてどう考えるか。
- (2) 令和6年12月議会の際に防犯カメラの件を黒岩議員が質問しているが、その後に通り魔による事件が続発した。市としての考え方に変わりはないか。
- (3) 安心・安全な小郡市のために市としてできることは。

## 質問事項

### **2. ヤングケアラー対策について【補助資料 無】(市長)**

質問要旨 (課題・問題点等)

令和5年12月に小郡市議会からヤングケアラー対策への提言書を提出した。その後、市としてどのような対策を実施したのか。現段階での状況を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) ヤングケアラーコーディネーターの活動内容について問う。
- (2) ヤングケアラーの把握調査について問う。
- (3) ヤングケアラー及び家庭に対する支援について問う。

# (一般)質問通告書

会派名           おごおり創志会          

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員           佐藤 源          

## 質問事項

### 3. 市民からの意見聴取について

**【補助資料 無】** (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市は様々な場面で市民からの意見を聴取などしているが、その方法や資料などについて疑問に思うことがある。市としてどのような考えを持って市民から意見を集約しようとしているのかについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) パブリックコメントなどの際の資料の内容について問う。
- (2) 意見集約をする際のスケジュールなどの決め方について問う。

# (一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年2月21日  
15時09分 受付7番

令和 7年 2月 21日

会派名 \_\_\_\_\_

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 新原 善信

## 質問事項

### 1. 個人情報に関わる人権侵害の防止について【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

プライバシーの権利は、私生活上の情報を他人にみだりに取得・公表されない基本的人権である。もし、プライバシーにかかわる個人情報をうわさや文書、インターネット等で流布し、特定の個人の社会的評価を低下させたり精神的苦痛を与えたりしたときは、刑法上名誉棄損や侮辱罪で訴えられることもある。しかし、近年、特にインターネットやSNSの普及によって個人や集団等を誹謗・中傷する表現や差別を助長する人権侵害が増加し、最悪の場合死に至らしめる事例も後を絶たず社会問題化している。これらの人権侵害を防止するために小郡市はどのような施策に取り組むのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 個人情報に関わる人権侵害の事例としてどのようなものがあるか。
- (2) 個人情報に関わる人権侵害を防止するためにどのような法整備がなされているか。
- (3) 学校において情報リテラシーの指導はどのようになされているか。
- (4) 社会教育において情報リテラシーの教育啓発はどのようになされているか。

## 質問事項

### 2. プラスチックごみ問題の解決に向けた小郡市の取り組みについて 【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

プラスチックごみ問題とは自然には分解されないプラスチック製のごみが増加することで、自然環境や動物、人間の健康に被害をもたらす問題である。その対策として昨年秋、小郡市は市内2行政区で製品プラスチックと容器包装プラスチックの一括回収の実証実験を行った。この分析結果を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) プラスチックごみ問題の原因と環境に与える影響とはどのようなものか。
- (2) プラスチックごみ問題にはどんな対策が必要か。
- (3) 昨年秋の実証実験の結果と分析はどうなっているか。
- (4) 来年度以降、プラスチックごみ問題解決に向けどのように取り組んでいくか。

令和 7年 2月 25日  
8時 40分受付 8番

# (一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 25日

会派名           おごおり創志会          

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員           小野 壽義          

## 質問事項

### 1. 小郡市人口の推移について

【補助資料 有・**無**】(市長)

#### 質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市の人口は、2025年(令和7年)2月1日現在で59,493人であるが、2022年(令和4年)8月の59,842人以来、僅かではあるが減少傾向にある。2024年(令和6年)からは59,500人を基準に増減を繰り返し人口60,000人の壁を越えることができない。

人口は市の体力であり、人口減は市の衰退に繋がると思われる。昨年は6月に小郡鳥栖南スマートインターチェンジが供用開始され、また、11月にはコストコ小郡倉庫店が開業するなど、交流人口は以前より大きく増えていることから、市の可能性は非常に高いと考える。

先日、国の人口減少を基に令和7年改訂版の「小郡市人口ビジョン」が示され、市独自の将来人口推計は2040年には約59,500人～57,000人、2060年は56,500人～50,000人になると展望している。今後、人口の減少を食い止めるために、「働く場所の確保」や「住みよいまちへの環境整備」を行うことで、人口の増加や維持することができるのではないかと考える。そこで、市の人口対策について問う。

#### 質問明細 (具体的に)

- (1) 雇用確保のための企業誘致について問う。
- (2) 小郡鳥栖南スマートインターチェンジ周辺の開発による企業誘致について問う。
- (3) 住居系地区計画について問う。
- (4) 都市計画法第34条第11号・12号について問う。
- (5) 安心して暮らせるための道路、公園の環境整備について問う。
- (6) 安全な生活を送るための水害対策について問う。
- (7) 市独自の移住、定住施策について問う。
- (8) 中古住宅や空き家の活用について問う。

# （一般）代表）質問通告書

令和 7年 2月 25日  
8時 56分受付 9番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 25日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

## 質問事項

### 1. 多様性を尊重した地域に開かれた学びの場の必要性について 【補助資料 有・**無**】 (市長・教育長)

質問要旨（課題・問題点等）

近年、多様性への理解が進む中、個性や能力を尊重することが求められている。

子どもが自分らしく学べる環境を整えるためには、学校教育以外に、地域に開かれた学びの場が必要であると考えます。

特に進路に悩む生徒や様々な事情を抱える生徒にとって、学校外の支援は重要であり、保護者にとっても安心して相談できる場は子育てをしていく上でも必要なものだと捉えている。

次世代を担う子どもたちが減少する中、一人ひとりの成長が社会の活力につながるため、学校と地域が連携し、多様な学びの場を提供することが、子どもたちの将来の選択肢を広げることにつながる。そこで、多様性を尊重し、地域に開かれた学びの場の必要性について問う。

質問明細（具体的に）

- （1）進路支援における学校外の学びの場の現在の取り組みや課題について問う。
- （2）進路指導における学校間の格差の認識と現在の対応について問う。
- （3）多様な生徒の学びを支えるための環境や保護者支援の必要性について問う。
- （4）学校と地域が連携した学びの場の創出について問う。

## 質問事項

### 2. 脱炭素社会に向けた LED 化推進と市民への支援策について 【補助資料 有・**無**】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

小郡市は 2050 年の脱炭素社会実現に向け、様々な取り組みを進めているが、特に蛍光灯の製造が 2027 年に禁止されることに伴い、公共施設だけでなく、一般家庭や高齢世帯への LED 化の推進も重要と考える。市民一人ひとりが脱炭素行動を日常生活の中で実践できるよう、具体的な支援策を講じることが必要ではないか。そこで、脱炭素に向けた市の現状と今後の取り組みについて問う。

質問明細（具体的に）

- （1）本市の脱炭素社会の実現に向けた、これまでの取り組みと現状について問う。
- （2）2027 年の蛍光灯製造禁止を踏まえ、公共施設における LED 化の今後の取り組み及び一般家庭や高齢世帯への LED 化推進にむけた現在の支援策について問う。
- （3）市民一人ひとりが日常の中で脱炭素行動を実践できるよう、今後の具体的支援や啓発活動の取り組みについて問う。

# 一般代表)質問通告書

令和7年2月25日  
9時15分 受付10番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年2月25日

会派名 \_\_\_\_\_

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小坪 輝美 \_\_\_\_\_

## 質問事項

### 1. 小郡市子ども計画について

【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

少子化の進展、いじめ・児童虐待・不登校などの増加、こどもの貧困の問題など、こどもを取り巻く状況は、ますます多様化・複雑化してきている。また、大規模災害や感染症の発生、デジタル技術を使ったコミュニケーションや情報のやり取りが急激な進展するなど、先を見通すことが難しい時代になってきている。

そんな中、小郡市において、「こども基本法」・「こども大綱」をふまえ「小郡市子ども計画」が策定された。そこで、「小郡市が目指すこどもまんなか社会」の実現の取り組みなどについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 基本方針や取り組みについて問う。
- (2) 計画策定において、重視した点について問う。
- (3) こども権利とこどもアドボカシーについて問う。
- (4) 周知等について問う。

# (一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 2月 25日  
9時 17分受付 11番

令和 7年 2月 25日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田中雅光

## 質問事項

### 1. 流域治水について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市では過去多年にわたり水害に見舞われた。その後、治水対策に関する流域治水ロードマップを作成し治水事業を進めている。大きなものでは宝満川にある使用しなくなった堤の撤去や浚渫、支流河川の改修等をおこなっている。流域治水を進めるためには上流域の市町村との連携が最も重要だと考える。水害対策のさらなる強化について市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 筑後川流域治水プロジェクトにおける立地適正化計画の位置づけを問う。
- (2) 流域市町との連携協議について問う。
- (3) 内水氾濫対策について問う。

## 質問事項

### 2. 災害時の情報伝達について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

災害時の情報伝達や事前知識の提供は大切である。九州北部では警固断層の南西地域の発生リスクも高まっており事前に正しい知識を提供していくことが大事だと感じる。小郡市における情報伝達の強化に向けこれまでの提案について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 災害 (内水) ハザードマップの作成・更新について問う。
- (2) 災害に特化したポータルサイトの作成について問う。

## 質問事項

### 3. おくやみ窓口の設置について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

窓口業務の効率化を目指し民間事業者への委託等に取り組んできた。おくやみ手続きは煩雑で心労を伴うもの、一つの部署においてワンストップで行うことが望ましい。以前要望していたおくやみ窓口の設置について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) おくやみ窓口を設置することについて問う。